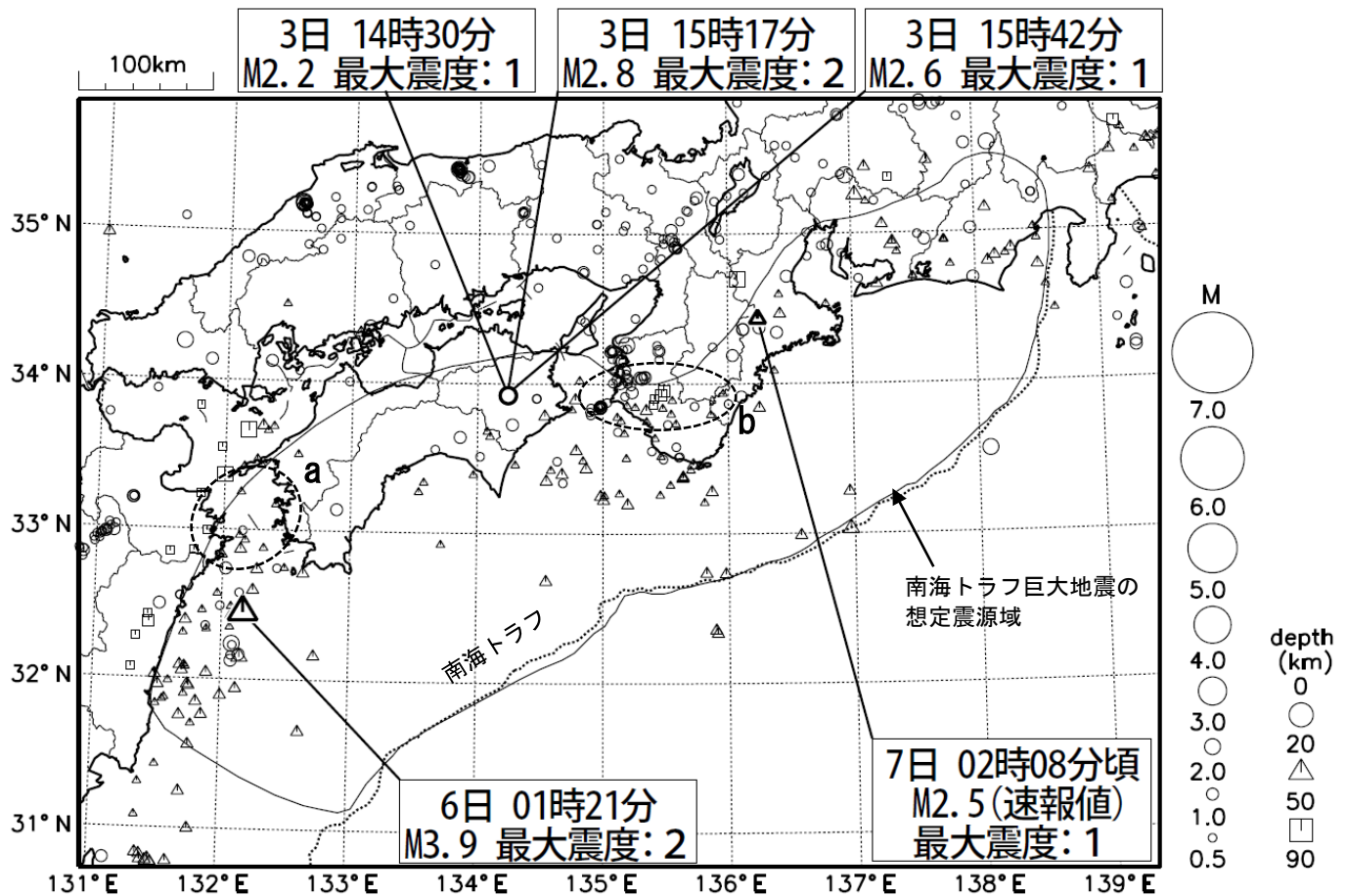


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 23

* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年6月1日～6月7日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M $\geq$ 0.5、震源の深さ0～90km）。

[概況]

特に目立った活動はなかった。

[主な地震活動]

- ・ 3日15時17分に徳島県北部^{※1}の深さ9kmでM2.8の地震（最大震度2）が発生した。この地震の発生前後には、震度1を観測する地震が2回発生するなど、一時的に地震活動がやや活発となった。これらの地震は地殻内で発生した。
- ・ 6日01時21分に、日向灘の深さ28kmでM3.9の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{※2}と地殻変動]

- ・ 3日から5日にかけて、豊後水道（領域a）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。
- ・ 4日から6日にかけて、紀伊水道から和歌山県（領域b）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。

※1：気象庁は、これらの地震に対して、震央地名[徳島県南部]で情報発表した。

※2：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。